

11月のくらし

寄生虫予防運動

みんなそろって  
集団駆除

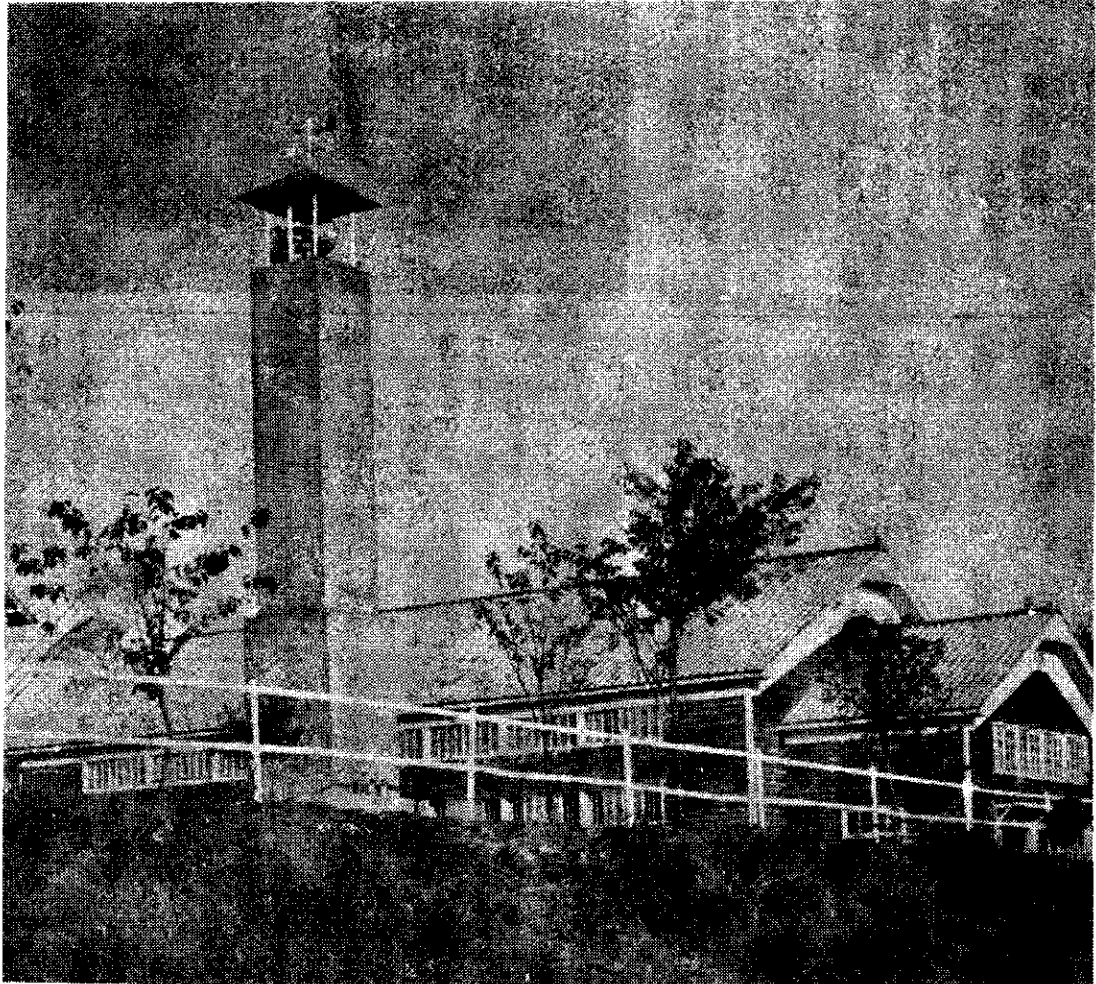
# 広報かわにし

発行所 川西町役場 編集人 星名四郎 社  
 発行者 川西町 印刷 白南風 部  
 (町長 中村 壮吉) 定価 1部5円

人口の動き

11月1日現在

男	6,703人
女	6,949人
計	13,652人
世帯数	2,709世帯



## われらの「友情の鐘」

よく澄んだ秋空にすいこまれるような、広い段丘を流れるようなウエストミンスターの鐘の音がきかれるようになった。

出色の卒業記念といつてもよい。橋中の三年生が卒業の想い出に、校庭の一隅にチャイム・タワーを築きあげた。写真は、その記念塔だ。

夏も盛りのころ、河原から玉石を運んで材料にした。じぶんたちの手でセメントもこねあげた。よき卒業記念をのこしたよるこびが、この塔に「友情の鐘」と名付けさせた。

## 十一月の行事

- 一日 健康優良児表彰式 役場
- 消防トレーラー入魂式
- 三日 文化の日
- 五日 霧谷道路竣工式
- 七日 直影合理化指導 県から
- 八日
- 九日 環境衛生推進委員会総会  
高倉失対事業竣工式
- 十日 十日町実業高校竣工式
- 十日 橋中工作室竣工式
- 十日 町長会 中里 (町長)
- 十三日 松葉沢溜池建設工事及び上野地区開田工事竣工式
- 十四日 郡市教育委員会(十日町)
- 十五日 千手小給食施設竣工式  
年賀はがき売り出し
- 十八日 上野地区婦人会総会
- 二十日 全国町村長大会(町長)
- 二十五日 勤労感謝の日

## 実績発表大会

ことしの青少年活動実績発表大会は過去三回の大会に比べてはつきり比較のできるのは発表数が少なかったことだろう。第一回の大会にくらべて約半分しかない発表は、正直さみしかったよ。女子の発表が皆無というのも今回だけだったろう。聴衆が少なかったのも単なる偶然ではなく、青少年活動の昨今の状況が、敏感に地域に反映したのではないかと心配してしまうが、ないんだ。

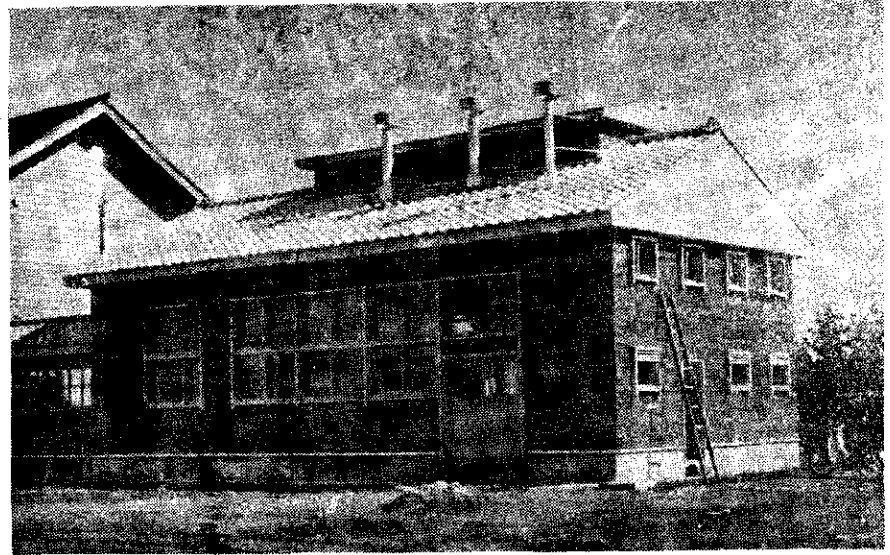
発表内容からみると演示部門のなかったのも、ライターの面でおもしろみに欠けて、間口のせいでもないものになってしまったのではないのか。演示のことをとりあげたのは例えはばのことで、料理の演示をやっているのを見るのはとても楽しかった記憶があるよ。大会のふんいきを盛り上げるような演出、内容のくふうも大切だと思っ

## 町づくり

発表内容からみると演示部門のなかったのも、ライターの面でおもしろみに欠けて、間口のせいでもないものになってしまったのではないのか。演示のことをとりあげたのは例えはばのことで、料理の演示をやっているのを見るのはとても楽しかった記憶があるよ。大会のふんいきを盛り上げるような演出、内容のくふうも大切だと思っ

会場はもちまわりで、これではとおりまわったところだから、問題はこれからということになる

# 千手小の完全給食開始!!



八月以来、工事を急いでいた千手小学校の給食棟がこの程完成し設備もすべてとのつた六日、待望の完全給食が開始された。

## 有数の

### 施設・設備

工事を請負ったのは丸山工務所設備は日本調理機の製品を備えつけて、県内でも有数の給食室ができてきた。

おもな機械設備は、かま四基にフライヤー、オーブン、食器消毒

## 地域の食生活改善も

### 重要課題

一、二年生の教室に準備に出か

けている当番の児童を、教室で待っている高学年の子どもたちのもどかしそうな顔も印象的だった。児童の体位の向上、学習指導の面で給食のしめる比重が非常に大きくなっているのはもちろんだけれども、学校給食の重要な目的のひとつに地域の食生活改善という課題のあることを考えて、この機会に児童、生徒の給食に、いっそろの関心をよせていただきたい。

## パン・ミルク・おかず

参考までに十一月中の給食献立表を付してみるが(副食のみ)これに、パンとミルクが加わって、一食あたり六〇〇カロリー(低学年)から七〇〇カロリー(高学年)の所要栄養量を満している。パン一ケの重さは、小麦粉の重量で低学年八十グラム、高学年九十グラムにしている。

### 十一月献立(副食)一覧

- 六日 ジャム カレー汁
- 七日 バター 秋草あえ
- 八日 野菜 フルーツバター ソテーソーセージ
- 九日 おひたし 焼きさんま
- 一〇日 キントン 肉汁 リンゴ
- 一三日 バター インディアンサラダ
- 一四日 大学ポテト とうふ汁
- 一五日 フルーツバター おでん
- 一六日 シチュー リンゴ
- 一七日 酢くじら ジャム
- 一九日 ハム サラダ
- 二〇日 いかの甘辛煮 うまにリンゴ
- 二一日 ぶどう豆 わかめ汁
- 二二日 ステックフライ ごまあ

## 消防トレーラーの誕生

### 考案者の丸山団長が五台も寄贈

日本最初の消防トレーラーが川西町に誕生しました同時に考案者である丸山消防団長(松屋織物社長)から五台も寄贈を受けたことは消防団をはじめ町にとっても心から感謝しなければなりません。今まで、消防の機動力といえは消防ポンプ自動車にかぎられてきました。価格は二百万円もして高価であり、積雪時に活動できなかったの点から山間地に設備できなかったわけです。すべての産業が機械化されてきている今日、消防だけが依然として人力にたよっていることになんとかしなければならぬと考案、小千谷市片貝町の藤文商會社社長が松屋さんを訪れた際にこんな物ができないかと依頼した結果、次のような経過で誕生しました。

でもでき、免許も大せいもっている。  
三 小路、悪路でも走れる。  
三 価格が安いこと。  
四 非常の際は七、八人乗車できる  
五 トレーラーからポンプを簡単に取りはずしできる。  
六 故障が少ない。



右の写真が試作第一号の消防トレーラー(第一分団第一車庫前)

## ふるさと

NHKが国民生活時間の調査を行いその結果を問題別に分析して発表しました。婦人の生活時間の特徴と題する中で都市とその周辺の家庭婦人の家事労働は平均七時間弱

という事です。電化その他によって能率化されたという家庭内の仕事で睡眠時間八時間をのぞいた残りの半分を占めていることは大変なことであり、これを生活の機械化と意識的に時間割を作ることによりアメリカ婦人が平均三時間半に短縮しているのを参考に、もっと短くしていきたいものだと思われていました。そこで、私も十月中旬の一週間、克明に調査表をつかって記入し計算したところ、一日平均一一時間二八分と表われ考えさせられました。まず第一にこれではとても文化生活とはいえないとがっかりしました。一五〇羽の成鶏、一〇〇羽のひよこ、十数匹の親子豚の世話が一日平均一時間三六分しかかかっていないこともわかりました。このささやかな表をもとに自分の生活を考え直していきたくと思っています。私の回わりには早朝家事を終えて田畑へ出、暗くなるまで耕して帰って又台所に子どもの世話にとはげむおっかさん。出産のまぎれまで米作りに精出すお嫁さん。又子どもと雑多な家事をかかえての職業婦人、あの人もこの人も私以上に何と多くの忙しい婦人がいることでしょう。この婦人残酷物語の時代から婦人労働三時間半の時代の早からんことを夢み、みんなの力を合わせて考えていきたい。

### 自分への問いかけ

## 社会教育

私も、みなさまと同じひとりの母であり、平凡な一家の主婦でございます。このごろの私は毎日の生活がいつも悩みとキモンでいっぱいです。一つ一つを解決してもまた次つぎとわいてきて、いつになってもなくなるごときありません。なぜ、どうして、これも悩みやキモンがおきてくるのかしら。自分はどうすればいいのかしら、と、いつも考えているようなしまつてございます。自分への問いかけ、これなしにはどうも暮らしてゆけません。

さる十月二十五日、評論家の丸岡秀子さんは、こう前おきして次のように語ってくれました。

ある日の夕食後、親子で水入らずの話しあいをしました。「おかあさんももう年だから、これからはあなたたちから大事にしてもらわなくちやね」複雑な気持ちでこう申しました。ところがまあ、大学生のむすこが「おかあさん、そう思ったら自分で大事にされるように生きるんだね」というのです。「この子には女の気持が解らないんだわ」そう思って高校生の娘の顔を見つめました。ところがどうでしょう。「にいさん、うまいことをいったわね。全くそのとおりの」と、こう申したのでございませう。

「じゃ、大事にされるように生きるにはどうすればいいかしら」とききましたら、むすこに「おかあさん、それは自分でよく考える

んだね」といわれ、娘には「そんなことが解らないんだから困っちゃうわ」といわれて、すっかり驚いてしまったのでございます。むすこはさらに、「おかあさん、いつもエラそうなことをいって歩いてるけど、表とウラがあるねこのあいだ隣のオバサンと庭先で立ち話していたら、途中でオバサンが『夕食のしたくがあるからこれで失礼』といったとき、『アラ、まだいいじゃありませんか』と、いつてひきとめて、暗くなるまで話しこんでいたね。あとでおかあさんは『あのオバサン長ツチりだから、つかまるというも話が長くなって困っちゃう』と、いつていたね。帰るのときになぜひきとめたんだい』というのです。娘はいました。「あたしがオサラを割ると、おかあさんは『またやっちゃったの、困るわねえ』と、いつて叱る。そのくせ自分で割ったときは、庭のすみっこにうずめて知らん顔してる。すなおに『ごめんない、許してね』って、いえないものかしら」と。

そこで私は考えたのです。決して子どもたちが生意気なわけはない。これは昔と今の教育の差であることをすなおに発言する。それを理くつだと思っはいけないんだと。親の身勝手がいかに子どもを苦しめていたことでしょうか。

つねに「自分への問いかけ」を忘れたくはございません。婦人学級や講座で勉強して考える人間になりましょう。おかあさんが考えれば、父も子もやがて考えずにはいられなくなるのですから。

日本一周、だれもが一度はやってみたいと思うことである。しかしこれはあくまで汽車の旅かあるいは自家用車などを主とする見物的なものであることはいうまでもない、だがこれにはフトコロ員合いやひまの問題があるため、われわれ一般人には遠い夢としか考えられないようである。

四月二十五日宮城県石巻市を出発してから自分自身の力で自乗車のペダルをふみしめ全国各地の社会教育の実態や青年学級、青年団の現状を見聞し自分たちの町をより良くするとともに自分自身の人生経験にしたいと心に念じ延べ二月以上上の重労働をやりながら食事費、修理費、宿泊費などをくりだし日本一周を遂行した青年学級生大山 実君(二二)にはただ敬愛のほかにばか見当らない。その大山君がひよつこり十月十七日川西町役場に立ち寄り日やけした顔を笑顔につつまながら過去六月月間の苦勞を語ってくれたことは新聞で報道済みであるが、それから五日間町に滞在し昼は役場や川西中学の建設現場で日雇人夫をやり夜は青年諸君と語りあい町のあらゆるものを学習し、仙田で行なわれた青少年活動実績発表大会に参加し数多くの人たちに見送られたが新編に向って出発した。筆者はその五日間いっしょに生活を共にしたものであるが、大山青年の学習意欲には驚くばかりでどんなものでもメモをとり、自分の納得のできるまで質問している態度は筆者のみならず語りあった青年諸

君も舌をまいて驚いたのである。そしてどんなときでも月曜日には必ず石巻市に資料をまとめて送っていたそうである。青少年の不良化が激増し、大きな社会問題となっている昨今特筆される明るいものではないだろうか。だれでもできるものではないとしても大山君の学習に対する意欲と、常におのれを鍛え、前向きな前進をしようとする態度は激動する世相の中に生活している青年にとって必ず持ちたいものである。十一月、町では出かせぎのシーズンである。全国一層はできないとしても出かせぎ先で大山青年のようなガムツサ(学習に対する)を發揮し持ち返ってきてほしいものである。そのことが自分自身にも、町の発展にも大きな収穫になることを考えたい。

最後に戦争当時石巻市に陸軍上等兵として駐屯しておられた千手の北村栄作さん(金盛屋主人)がこの大山君の態度に深く感激され、お世話になったご恩返しにもなればと自費を投じて最高級のタイヤ一台分を贈るとともに自乗車の整備までも引き受け、自宅に招待し家族ぐるみで食事をももにしてくださるという表にあらわれない心あたたまる善行があり大山君は目一杯の涙を浮かべながら感謝のこたえを繰り返して、こんなまでしていたいただいたのは川西町だけだ。遠く離れた宮城県にも川西町民の美しい人間味が話題になっていることである。町に住んでいる人たちはみんな北村さんのように美しい心を持っているのだと思うと住みよい明るい希望と誇りが湧いてくることを明記したい。

### ④ 眠りの浅い赤ちゃん

生まれて間もなくからずいぶん眠りの浅い赤ちゃんがいます。そういう赤ちゃんでも、グングン太っていくようでしたら心配はいりませんが思うように太っていかないような場合は、『眠りが少なうて、起きている時間が長いから消耗するのではないだろうか』と心配されるおかあさんも少なくありません。いくら眠りの浅い赤ちゃんでも長い目で見ると、普通は育っていくことが多く、知恵の発達も障害されるようなことはありません。ただし、お乳を吸う力が弱いか、あまりおとなしすぎたり、また反対にむやみに泣くとか、手足の動かし方がよくないとかいうような幾つかの問題が重なっていくときには、専門のお医者さまに相談してほしいと思えます。また眠りの浅い赤ちゃんには睡眠薬を用いることがあります。二三日できまめのあるられる赤ちゃん、せんせん効果のあるられる赤い赤ちゃんがあります。赤ちゃんの眠りが浅いからといって、家族の者が細かい注意を払って、廊下を歩くのにも抜き足さし足、また戸、障子のあけ

たてにも思を殺すようなことをすると、赤ちゃんの神経のほうもますます鋭くなって、わずかな物音にも目をさまして泣いたり目をつぶります。ですから家族の者も平常どおり生活して、無理に赤ちゃんを寝かせるという努力はしないでください。それより普通の生活に慣れるように赤ちゃんを少

しずつ導いてゆくべきです。⑤ 母乳ばかりほしがらる赤ちゃん 生後七九月になっても八九月になっても母乳にすがりついてばかりのもの全然食べようとしない赤ちゃんや、一度は離乳を初めたが途中で病気になる、母乳を多く与えるようになってからは、他の食事に見向きもなくなつたという赤ちゃんは、まもなく顔色も青くなり、目方のふえ方が悪くなります。これを「ちばなれ」といって当然のことのように考えられています。が、たいへん誤った考えかたです。だから着物をきているとやせたとに気がつかない場合が多いのです。目方をはかってみて、はじめて一カ月も二カ月の間、少しもふえていないのに驚くことがよくあります。このような場合はきまめて母乳が不規則に与えられています。赤ちゃんが泣くとうるさいからといって与え、夜も三回でも四回でも、泣くたびにやり、夜などは乳房を与えつきりというおあさんもあります。これではおなががいっぱいになってしまいはかものなどとても食べられないでしよう。このようにして育てられた赤ちゃんは、からだの発育がおくられるばかりでなく、泣けはお乳がもらえらるという気持を持ち泣き虫になり、与えられるまでは泣きつづけるという強情な気持もやしなわられてしまいます。いつでも強く泣きさえずれば、おかあさんはこっこの思うとおりになるのだということを、おかあさん自身でおしえてこんでいるのです。

## 保健婦室

たてにも思を殺すようなことをすると、赤ちゃんの神経のほうもますます鋭くなって、わずかな物音にも目をさまして泣いたり目をつぶります。ですから家族の者も平常どおり生活して、無理に赤ちゃんを寝かせるという努力はしないでください。それより普通の生活に慣れるように赤ちゃんを少

### 節黒城と上野氏

2

節黒城は、対岸の大井田城ととも、消え去ろうとする南朝軍の最後の守り場所であった。

南朝没落のあと、何年かの間は城を守る主としてなく、草の茂るままであったが、室町時代中期ごろから上野氏の居城として、ふたたび脚光をあびるようになった。

上野文書によれば、上野氏は八幡太郎義家の子孫である。

一族である里見氏の子孫であるという。どうも肩ツバもののような気がするが、もし正しいとすると、南北朝時代に奮戦した大井田城主たちとは明らかに伯父甥の間柄にあったことになり、たいへん興味ある問題を提示してくれることになるのだが、残念ながらいささいが不明である。

すくなくとも、室町時代後期(五百年くらい前)には、上野に住んだようであるが、上野氏の名が正しく記録にあらわれてくるのは永正三年(千五百六年)の家成議状といわれるもので、これは節黒城主の上野伊賀守家成が、その子どもたちに残した遺言状であるといわれ、

「越後国波多岐庄吉田郷の内、上野村は伊賀守家成が代々相続してきた領地であり、その伝えられた証文といっしょに菊寿丸へ譲る。……」

また、この譲状の文中に、「芹

河田・千田口」の地名があり、これは現在の「芹谷田・仙田口」であると思われるから、土地の呼び名がなかなか古いものであることが知られる。

菊寿丸はその後上野内匠助と名乗り、永正十年ごろから長尾為景(上杉謙信の父)と密接な関係をもち、その子彦九郎秀方も上野を中心とする地方の守りとして活躍をした。

武名のもっとも高かったのは、秀万の子である源六家成であつて、若気の誤りも少なくなかつたようであるが、それだけに各地の戦闘にはしばしば功をあげた。

とくに長尾景虎(のちの謙信)が相続争いに勝つて家督を継ぎ、栃尾から春日山城に移つたときには、陰の功労者として重きをなしていたようで、景虎から直接に連絡の便りももらつてゐる。

また、歌外波(西頸城郡)の合戦をはじめ、いくつかの軍忠壯(感状)も残つてゐるが、一番大きな仕事としては、謙信の命をうけて、最前線である上州沼田城の守将となつたことがあげられ、有力な関東勢力や甲斐の武田軍に備えて大功があつた。沼田城在陣中に謙信が亡くなったのを嘆いて、供養塔をたてたのがいまでも残つてゐる。

源六家成の子九兵衛は、謙信の後継争いの御館の乱に最勝側として柿崎町の猿毛城を功略したり、次第に父にあらぬ武名をあげてきていたが、新発田放生橋の戦いで若くして討死してしまつた。

元町部落の長安寺は、その菩提を葬うために建てられたといふ。

### 戸籍の窓から

うぶ声—御すこやかに

- 中村 たみ子 坪山 衛 長女
- 中村 義孝 坪山 悌二長男
- 小林 秀俊 木島 秀治長男
- 田村 敦子 鶴吉 伸夫二女
- 高橋 明彦 神社町 良平長男
- 羽鳥 幹雄 伊友 徳二二男
- 清水 早百合 高原田 善三三女
- 丸山 昌行 木島 喜二二男
- 高橋 晶子 伊友 義徳長女
- 中川 一郎 仁田 俊男長男
- 中嶋 智明 上野 作衛二男
- 上村 裕 上野 次雄長男
- 片桐 信子 小白倉 保菜二女
- 江口 美江子 小白倉 忠夫二女
- 猪 葉子 中仙田 大長女
- 登坂 公雄 岩瀬 庄一郎長男
- 高橋 委久代 永公 形二二女

### 昇天—御めい福を祈る

※赤ちゃんコンクール

- 野口 星野政利 上野慶辺 美幸
- 仁田 小幡寛浩 上野清水ひろみ
- 仁田 山口 敦 高倉高橋 洋子
- 新町 井川一弘 高倉青木恵津子
- 学校町高橋宏之 田戸星名由美子
- 上野 田村一徳 小根岸小海裕子
- 小脇 齊木信行 永公慶辺 直子
- 室島 木村一雄 下原田中恵美子

### 町の掲示板

昭和三十七年度の赤ちゃんコンクール表彰式が、さる一日に役場で行なわれた。入賞した赤ちゃんたちは次のとおりである。

- 下原 須藤英久 上野野上真須美
- 木瀬田口 君代
- 岩瀬中村千恵子
- ※栄養指導車巡回日程
- 十二月(月)次の場所・時間に栄養指導車(キッチンカー)の巡回指導があります。近所の人にはふつて参加してください。
- 室島農協前 午前九時三十分から十一時まで
- 仙田出張所前 午後一時三十分から三時まで
- ※千手診療所にレントゲン機械整備
- 千手診療所では、七月末以来レントゲン機械が故障してみなさんにご迷惑をかけておりましたが、

このたび京都府島津製作所製一種三型五百ミリの最新性能の機械を備え付け整備しました。十分ご利用願ひます。

※県優勝めざして猛練習  
第五回新潟県新生活運動大会が来る十三日新潟市公会堂で開催されることになっているが、今回は昨年同協会が発売して好評を得た「しあわせ音頭」の舞踊コンクールが同日午後三時から県一位を目標として行なわれる。県下五チームのなかに選ばれた川西町チームは毎日優勝を目標として練習に励んでおり、町民の応援を期待している

※社会を明るくする運動  
十八日午後一時から上野小で講演会をひらく。講師は保護観察協会中山順智氏、主催は郡保護司会

※浪曲演奏会  
十三日午後一時から橋中工作室の完成を祝って天中軒雲月一行が来演。よるは七時から上野小で松葉沼池建設工事の竣工祝いに同じ出し物。いずれも無料券を配布

※庁内人事  
根津キヨ子(収入役室)十月三十一日かきりて退職。

九月十五日現在で調製した基本選挙人名簿を次の期間、縦覧していただくことになっておりますから自分が確実にのつておるかどうかたしかめてください。

期間(十一月五日)十五日間  
なお、この期間は公明選挙の強調期間とされています。

か  
能  
壇  
太田白南風選  
元町 星名政義  
上野 みよし

遠足や稲の匂いの中を行く  
秋冷の蟬聲を閉じしまま  
豊作の足らぬ後を編む夜なべ  
越ヶ沢 小川辰治  
秋バラのひとひら散るを掃き残し  
三領 高橋壮平  
刈りすすむ鎌の冴えたる月あかり  
大倉 金子洋石  
元町 金子鉄平

各月に催しつづく山の寺  
舌頭千転といふことばがある。  
何べんも読んで味わうということである読み返してみる習慣が必要

先日出張の折県でも有名な葡萄の産地を見学しました。生産するいっぽうりっぱな協同加工工場があり、今後の農村のあり方は加工販売にまで及ぶべきであるといふに感心し、葡萄酒の一本をちようだいして帰りました。ところが試飲してあの葡萄酒の豊じゅんとは異なる安っぽいアルコール分をせつかく

期待もこわれませんでした。大資本のメーカーがその品質向上のために研究をたて、研究費をおしまし海外へまで学びに行つておられることを忘れ、ただ作つてみてお加工販売も成り立っていかないのでないかと惜しまれました。小さくてもどこにもまけないよいものを作ることの必要を痛感した次第です

### 編集後記

先日出張の折県でも有名な葡萄の産地を見学しました。生産するいっぽうりっぱな協同加工工場があり、今後の農村のあり方は加工販売にまで及ぶべきであるといふに感心し、葡萄酒の一本をちようだいして帰りました。ところが試飲してあの葡萄酒の豊じゅんとは異なる安っぽいアルコール分をせつかく期待もこわれませんでした。大資本のメーカーがその品質向上のために研究をたて、研究費をおしまし海外へまで学びに行つておられることを忘れ、ただ作つてみてお加工販売も成り立っていかないのでないかと惜しまれました。小さくてもどこにもまけないよいものを作ることの必要を痛感した次第です